

「自由に使える環境作文」使用条件

① 学校提出用に限り著作権フリーとする。そのまま使ってもいいし、手を加えるのも可とする。

② パクリ・コピペがばれた場合、また、この作文を使用して何らかの問題が発生した場合、すべて自己責任（悪いのは自分）とし、センセイに思いっきりしかられること。

③ パクリ・コピペがばれるか不安ならば、使用しないこと。もしくはは適当に手を加えて、オリジナル風に仕上げて提出すること。

④ 他のホームページに転載しないこと。

⑤ 他のホームページから直リンクしないこと

⑥ 「環境作文」から解放された時間で、すてきな夏休みの思い出を作ること。

<http://www.onda-honpo.com/kanryo-sakubin-free/index.html>



だれもゴミを捨てなくなつた。来月から三ヶ月に一度になつてな」と答えてくれた。

「ほかには」と尋ねると、「竹炭を網に入れて川底に敷くんじゃよ。竹炭は川をきれいにする働きがあるそうだな。ほかにも、微生物の入つた液体を川に流しているらしいが、詳しいことは分からんなあ」、「祖父が言つた。「こんな小さな村でも、みんなが協力すればあんなに汚かつた川がきれいになるんじゃないかな」と祖父がつぶやいた。

わたしはその川がどれくらい汚かつたのか知らない。でも、みんなが協力した成果と知つて感動した。みんなで行動を起せば、川はきれいになるのだと思うとうれしくなつた。

わたしの住んでいる●●市の近くでも川の浄化運動に取り組んでいるところはないかと図書館に行つて調べてみた。地元●●川でも同じように●●年前から浄化運動を行つていると分かつた。

身近なところで、川をきれいにしようとする

来年は自分も参加しよう、そう思った。  
 と、「と感謝の気持ちを伝えるだけではなく、  
 環境を整備しようと頑張る人たちに「ありが  
 川をきれいにしてくれる人が身近にいる、  
 わくわくしてしまおう。  
 めるような川にできたら、そう考えただけで  
 自分たちの手で、地元の川を魚や小動物が棲  
 んでいる人たちの仲間に加わりたいと思う。  
 し、受験が終わったら川の浄化運動に取り組  
 動に当分の間は参加できそうにもない。しか  
 わたしは来年受験なので、●●川の浄化活  
 力が汚れた川をきれいになるとは驚きだった。  
 微生物がヘドロを分解してくれる。微生物の  
 EM活用液を川に流すと、中に含まれている  
 いる液体「の正体はEM活性液だと分かった。  
 ってた。祖父が言っていた「微生物の入って  
 べてみると、祖父の田舎と同じように炭を使  
 どのように川をきれいにしているのかを調  
 った自分が恥ずかしかった。  
 くの人たちが活動をしていることを知らなか